

標準時間設定の基礎と 設定時間短縮法

正しい標準時間の設定を行い、更なるレベルアップをめざす!!

日時 2022年8月30日(火) 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

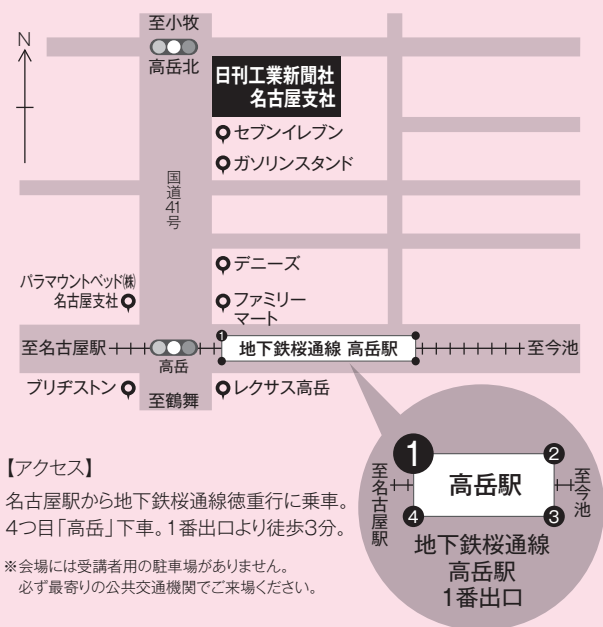
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】
名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書	8/30 標準時間設定		お申し込みは <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/>	<input type="text" value="Q"/>
			https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search	
会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
所在地	〒		FAX	
備考			E-mail	<input type="checkbox"/> ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

開催主旨

現状が、計画に対して進んでいるのか、遅れているのかを正しく把握しようとする基準が必要になります。標準時間は、作業が決められた手順通り、適正な速さで行われているかを把握するための基準となるものです。正確な管理を行う為には、正しい標準時間が設定されていることが求められます。しかし、精度の高い標準時間設定には膨大な工数がかかります。

そこで、工数をかけずに精度の高い標準時間を設定できるかが大きな課題となります。自社タイムテーブル（標準時間資料）の作成など、必要精度に応じた数パターンの課題解決に繋がる標準時間設定方法をご紹介します。ぜひ、この機会に正しい標準時間設定を行い、会社の更なるレベルアップをめざしてください。

セミナーのポイント

- ① 標準時間の考え方と設定方法を体系的に習得することができる
- ② 実務を意識した演習に取り組み、自社で標準時間設定を行う際のヒントを得られる
- ③ 必要精度に応じた数パターンの標準時間設定手法を体得する事ができる

講師

(株)MEマネジメントサービス マネジメントコンサルタント **添田 英敬** 氏

【略歴】 独立系システムインテグレーターにて流通業向け販売供給システム開発に携わる。会計事務所勤務後、日本インダストリアル・エンジニアリング協会（日本IE協会）にて、生産技術スタッフ向け研修会、現場実習、工場見学会などの企画・運営を経験。また、協会会員誌「IEレビュー」の企画、編集業務に従事。その後、(株)MEマネジメントサービス入社。社内外の研修講師を務めるほか、国内大手電機メーカー、海外自動車部品メーカーでのコンサルティング業務を行うなど、精力的に活動中。

URL <http://www.mejapan.com/>

プログラム

1. 標準時間の概要

- (1) なぜ標準時間が必要なのか
- (2) 標準時間の用途
- (3) 標準時間の定義と構成
- (4) 速さの基準ハイタスクとロータスク

2. 標準時間設定に必要なIE手法

- (1) IEとは何か？
 - (2) 直接時間研究とレイティング
 - (3) ワークサンプリング
 - (4) 既定時間標準法（PTS法）
- (演習) レイティング実践

3. 標準時間資料の基礎と作成法

- (1) 標準時間資料法の定義と特徴
 - (2) 標準時間資料の作成手順と合成法
 - (3) 分析法による標準時間資料の作成法
 - (4) 余裕率の設定
- (演習) 標準時間資料を用いた標準時間の設定

4. 標準時間設定のポイントと活用法

- (1) ライン作業の標準時間設定法
 - (2) 機械の複数台持ち作業の標準時間設定法
 - (3) さまざまな場合の標準時間設定法
 - (4) 標準時間の管理と活用法
- (演習) ライン作業の標準時間設定
(演習) 機械の複数台持ち作業の標準時間設定

【持ち物】

- ・電卓
 - ・パソコン
- (Excel2007以降のバージョンがインストールされているもの)